

いのりよの ひろば

Vol.
224
2017.1.25

■1面 狭心症の治療

■2面 感染対策ネットワーク

■3面 地域医療連携
「おかざき内科クリニック」

■4面 第6回市民公開講座
建替え工事について

狭心症の治療について (経皮的冠動脈形成術PCI)



循環器内科部長
安部 博昭

皆様、こんにちは！循環器内科の安部と申します。前回(3年前)は狭心症と冠動脈CT検査について紹介させて頂きましたが、今回は当院で力を注いでいるカテーテルを使った狭心症の治療について紹介させて頂きます。

「そもそもカテーテルって何ですか？」
カテーテルは英語ではcatheterと書いて「細管」の事を指します。ややこしいのですが、医療用カテーテルには心臓用だけではなく様々なものがありまして、尿管もカテーテルですし、中心静脈栄養などに使っている長めの点滴チューブもカテーテルです。我々は直径約2mm、長さ約100cmの心臓用カテーテルを用いて、部分麻酔で冠動脈と言われる心臓を栄養する血管の拡張術を行っています(図1)。

成功しました。弱点は再狭窄(数ヶ月以内に再び狭くなってしまふ)が多いことでした。

一ステント治療について
バルーン拡張術の弱点を補うべく登場したのが、冠動脈ステントです(図4)。元々、ステントとはイギリス人歯科医チャールズ・ステントの名前が由来で、第一次大戦中に顔面の傷が治るまでに変形を来さないような金属製支柱物が考案され、それが歯科材料として世界に広まったことが始まりです。バルーン拡張術登場から9年後の1986年に世界第一号の冠動脈ステント植え込みが行なわれ、日本では1990年に北九州の病院で初めて植え込みに成功しました。そして現在はステントに再狭窄予防効果のあるお薬をコーティングした「薬剤溶出ステント」が主流になっています(図5)。

一麻酔は全身麻酔なの？

いいえ、部分麻酔(局所麻酔)で行います。そのため、体への負担は全身麻酔に比べて少なくなっています。

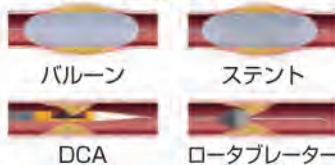


図1

一どんなことをするの？

ブレードと呼ばれる動脈硬化

図2 虚血性心疾患の治療法
冠動脈形成術(PCI)



「バルーン(風船)拡張術について」
バルーンと呼ばれる直径3mm程度のチューブを膨らませて狭くなった所を拡げます(図3)。この方法は1977年に世界で初めてスイス人医師によって人体で

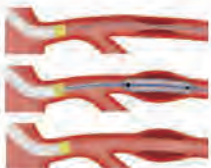


図3 バルーン

図4 冠動脈ステント



図5 薬剤溶出ステント



一ロータブレードについて

パー(Burr)と呼ばれる先

2面に続く



端に小さなダイヤモンドの粒を装着した金属を、1分間に14万〜20万回転させて固い物(石灰化)を削る道具です(図6)。

図6 全体写真(左) 先端部の拡大写真(右)



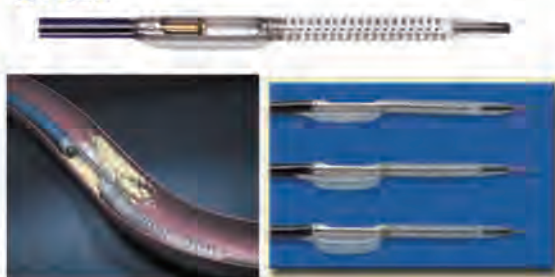
が条件になっています。当院もその条件を満たしており、石灰化の強い患者さんの治療に積極的にロータブレードを使用していること高い成果を上げています。

DCA JINSEN

DCAは、方向性ブレード切除と言う意味で、意図的に方向付けをしてそこにあるブレードをカンナのような道具で削り取って回収する方法です(図7)。これも1990年に米国で認可され臨床使用されていましたが、手技がやや難しく日本以外の国ではあまり定着せず、2008年に一旦姿を消しましたが、日本人ドクター達の熱いラブコールによって、2015年に日本の企業により再び製造・販売となっ

た器具です。DCAの最大の利点はブレードを削り取ることで体内に異物を残さずに治療を完了し得るところです。ステント治療よりは再狭窄率が高いものの、DCAを使ったほうがもっと良い治療が出来るのになっと思ふことが少なからずある器具なのです。当院でもすでにDCAを開始しており、今後も質の高い医療を提供するためにバルーン・ステント・ロータブレードと共にDCAを活用していきます。

図7 DCA



一まとめ

我々はこれらすべての器具を駆使して、よりよい医療を提供する努力をしています。その甲斐あってか、他院で治療困難と言われ当院にご紹介頂きますして治療出来た方も年々増えています。お困りの方がいらっしやいましたら是非ご相談下さい！

認定看護師に聞く

北摂四医師会 感染対策ネットワークについて

感染対策室 室長 鳴美 英智

■地域全体で病院施設の感染対策を強化

「北摂四医師会感染対策ネットワーク」は、大阪医科大学附属病院や高槻市・茨木市・摂津市・島本町にある病院が、各施設および地域における感染対策を強化することを目的に23病院の連携で2012年4月に発足しました。現在は、新たに3病院が加わり26病院で活動しています。この感染対策ネットワークは、医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師・事務員で構成されており、各領域の専門性を活かして施設および地域の感染管理に協同で取り組んでいます。活動内容としては、感染症治療・抗菌薬の適正使用・薬剤耐性菌の検出状況・アルコール手指消毒薬使用量調査などの情報交換だけでなく、感染予防教育・相互ラウンドやアウトブレイク時の介入など、感染対策の実践レベル改善につながる活動をおこなっています。

■感染管理認定看護師の役割

感染管理認定看護師は、院内における感染リスクを低減するために、「実践」・「指導」・「相談」の3つの内容に則って、「①予防・対策」、「②医療関連感染の発生の監視」、「③職業感染対策」、「④すべての職員への感染対策教育」、「⑤病院の環境管理」、「⑥感染管理システムの構築」の6つの業務を包括的かつ実践的におこなう役割を持っています。

■感染管理認定看護師による地域活動

現在、この感染対策ネットワーク内では、12名の感染

管理認定看護師が活動しています。それぞれが在籍している施設の特性は様々ですが、得意分野を活かして地域の感染予防対策の継続的な教育として「三島ブロック感染対策ネットワーク特別講演」の企画・運営・講演担当者として取り組んでいます。これまで11回開催し、毎回50名前後の地域で働く専門職の方々にご参加いただいています。

今後も地域の医療・介護施設における感染対策を強化できるように、感染対策ネットワーク内の感染管理認定看護師の一人として、地域の活動に取り組んでいきます。

第10回三島ブロック感染対策ネットワーク特別講演後の集合写真(2016年5月28日)



前列中央：矢野先生(浜松医療センター)、前列右端：大石先生(関西医科大学附属病院) 北摂四医師会感染対策ネットワークの仲間(矢野先生の左後ろが鳴美看護師)

おかざき内科クリニック
岡崎 英明 院長



地域の健康を見守る ホームドクターとして

開院の経緯

平成6年に金沢医科大学医学部を卒業後、大学医局へ入局し循環器内科医として経験を積んで参りました。その後、縁があって大阪へ移り、医誠会病院ハートセンター、暇生会脳神経外科病院そしてみどりヶ丘病院にて勤務、同病院では循環器内科に加え、一般内科医として高齢者の肺炎や呼吸不全、脳梗塞等に対しても診療を行っておりました。

開院を考える際に、担当している患者さんがこの度開院した芝生

町の周辺から足を運んでくれていることに気がつきました。この辺りには循環器内科を標榜している病院が少なく、少しでも患者さんのお力になりたいと思い、今年の7月に開院するに至りました。一人ひとり向き合う時間を大切にしながら、患者さんのペースに合わせて寄り添えるホームドクターを目指しております。

クリニックの特徴

診療を行っている症状を抱えながらも医療機関を受診せずに過ごしている患者さんが多いように感じます。そういった患者さんにもまず受診してもらえらるような雰囲気を作り、患者さんのお話をじっくり伺い、出来るだけ病気に対する不安を取り除いて検査、治療が受けられるようにしたいと思っております。当院では心エコーや運動負荷心電図等検査機器を整備していますので、胸痛や胸部圧迫感のある患者さんに対しても迅速に対応することが出来ます。また、緊急対応や入院治療が必要な場合には高槻病院

等の近隣病院と連携を取り、患者さんが適切な医療を受けられることができるようサポートしていきたいと考えております。また、一般内



高槻病院への要望

科として勤務した経験を活かして地域で暮らしている患者さんの総合的な医療に携わる診療所でありたいと考えておりますので、日々の健康管理や病気の予防にも力を入れ、禁煙外来や栄養指導、特定健診も行っております。さらに、通院が困難な患者さんに対しては必要に応じて在宅診療・往診も行っていく予定にしておりますので、その際は一度ご相談頂ければと思います。

急な受診依頼にも速やかに対応頂きありがとうございます。診療予約も患者さんをお待たせすることなく、スムーズで大変助かります。今後も連携を取りながら患者さんの健康をサポートしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



岡崎先生、お忙しい中快くインタビュをお受け頂きありがとうございました。お話しを伺う中で、地域医療に貢献していきたいという強い想いを感じました。「病院にかかるとは気が重い」と感じている患者さんに少しでも乗りたいとお話されていましたが、インタビュから先生の

温厚で気さくな人柄を感じ、つい足運んで相談してしまおう、そんな患者さんのお気持ちを感じる事ができました。今後とも先生と連携を取りながら地域医療に貢献して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(地域医療部 内藤 築地 加井)

おかざき内科クリニック

〒569-0823 高槻市芝生町1丁目1-12

TEL.072-679-3501

【診療内容】内科・循環器内科

【診療時間】午前9時～12時
午後4時～7時

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日



INFORMATION ■ 糖尿病公開講座

- 2/3(金) 15:00~16:00 『顕微鏡で見る糖尿病』
担当:検査技師 場所:愛仁会リハビリテーション病院8F 第3・4会議室
- 2/17(金) 15:00~16:00 『運動は〇〇を予防できる!』
担当:理学療法士 場所:愛仁会リハビリテーション病院8F 第3・4会議室
- 3/10(金) 15:00~16:00 『塩分6gってどんな量?』
担当:栄養士 場所:愛仁会リハビリテーション病院8F 第3・4会議室



第6回 高槻病院市民公開講座を開催しました

地域医療部 地域医療連携科長 家山 温子

▶第11部 質疑応答の様子



12月3日(土)15:00～高槻現代劇場に於いて、第6回高槻病院市民公開講座を開催致しました。お忙しい中117名の方に参加頂きまして誠にありがとうございました。今回は「知っておくべき“がん”のこと!～がんになっても慌てないために～」をテーマに第I部は化学療法、手術、緩和ケア、栄養療法、がんリハビリテーションについての講演を行いました。

近年日本では2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡すると言われています。かつては不治の病と言われていた“がん”ですが、薬剤や治療法が日々進歩しており、生存率が向上しています。その様々な治療法からどれを選択するのか、あるいは治療しない事を選択するのかの最終決定権は患者さん自身にあります。その決断を迫られた時に出来るだけ多くの情報を持っていて頂きたいという思いから今回のテーマを選択しました。その思いが少しでも皆様伝われば…と置いていたところアンケートでお1人の方が「がんと共存する。闘わないと決めていたが、医療の進歩を享受してみる価値があると思った」との意見を頂けたことは本当に嬉しく思います。この他にも様々な意見を頂きましたので今後の参考にさせて頂きたいと思っております。

今後も毎月1回様々なテーマで市民公開講座を開催予定ですので、是非ご参加下さい。

高槻病院
第6回 市民公開講座
参加無料

知っておくべき
“がん”のこと!

日時 平成28年12月3日(土) 15:00～17:30 (14:30受付開始)

会場 高槻現代劇場(文化ホール3階 会議室)
〒569-0077 高槻市野島町2-33 ☎072-671-1061

定員 400名

申込締切 11月18日(金) ※当日参加も可能です

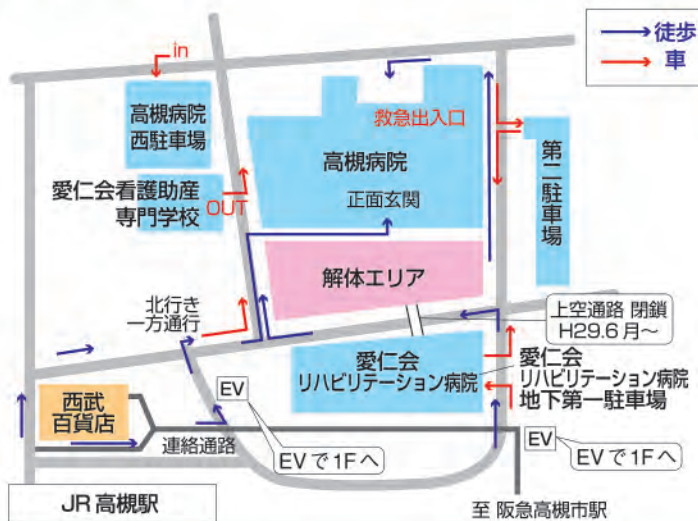
第1部	
講演1: 化学療法	「癌と闘うな」は本当か?～抗がん剤の最新事情～ 高槻病院副院長/呼吸器内科部長 船山 昌弘
講演2: 外科手術	「ここまで来た!がん手術」 高槻病院副院長/消化器外科部長 土藤 謙二
講演3: 緩和ケア	「痛みと辛さの克服」 高槻病院呼吸器内科部長 中村 英保
講演4: 栄養療法	「がんを防ぐ、がんに打ち克つ」 高槻病院栄養管理科科長 齋藤 実智子
講演5: がんリハビリテーション	「がん治療と生活を支援するリハリハビリ」 高槻病院WIC/リハリハ科 副主任 井上 知枝
休憩 15分	
第2部	
質疑応答	

主催: 社会医療法人愛仁会 高槻病院 後援: 高槻市・高槻市医師会

建 替 え 工 事 について

平成22年に開始した建て替え工事ですが、平成26年10月にI期棟がオープンし、今春II期棟がオープンします。これに伴い、現在愛仁会リハビリテーション病院の2、3階にあります外来診察室や検査室がII期棟に移転します。その後、旧館を解体し、外構工事が始まります。この期間は愛仁会リハビリテーション病院と高槻病院旧館を繋いでいる3階の上空通路を約1年間閉鎖して延伸工事を行うため、通行出来なくなります。ご不便をおかけし致します。新たな高槻病院は免震構造となるため病院敷地内に駐車場はございませんが、西隣に100台駐車可能な高槻病院西駐車場がオープンします。

目下、フロア&駐車場ガイド(II期棟完成版)を作成しております。完成次第、受付等に設置しますので、ご覧ください。新高槻病院の全工事完了、グランドオープンが平成30年春の予定となっております。工事期間中はまだまだご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



社会医療法人 愛仁会

高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の可否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 ☎569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
 しんあい病院 ☎569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
 しんあいクリニック ☎569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号 ☎072-668-5000
 愛仁会高槻在宅サービスセンター ☎569-1116 高槻市白梅町5番7号

訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
 ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
 ケアプランセンターケアイ ☎072-687-2536
 ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
 しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
 ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
 ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2941
 介護老人保健施設ケアイ ☎569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
 介護老人保健施設しんあい ☎569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号 ☎072-680-3000
 愛仁会総合健康センター ☎569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
 愛仁会看護助産専門学校 ☎569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031